

# しょうよう い で き つ がわ 城陽井手木津川バイパスにおける計画段階評価

## 1. 木津川右岸地域の課題

### (1) 国道24号が寸断した場合の防災機能の損失

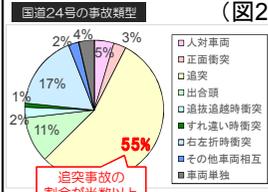
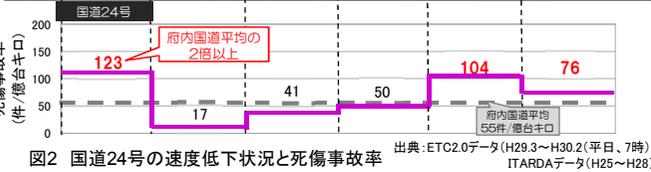
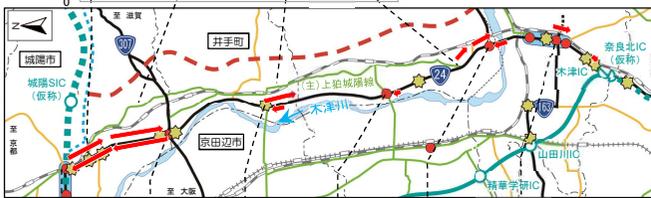
○第1次緊急輸送道路として防災拠点を連絡する国道24号は、木津川等の浸水想定区域を通過。氾濫時には多くの集落が孤立、代替路もないため救助・復旧活動等に支障。(図1)



図1 木津川・支流の浸水想定区域 出典：各市町村のハザードマップ(H29.6時点)、H22国勢調査緊急輸送道路(京都府ホームページ)

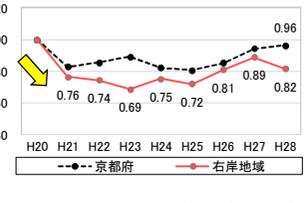
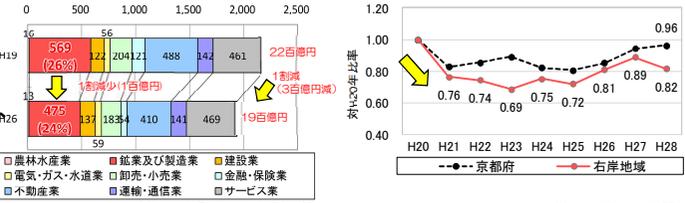
### (2) 慢性的な交通混雑と事故の多発

○国道24号には、主要渋滞箇所が点在し、慢性的な交通混雑が発生。また追突事故など交通混雑に起因する事故が多発。(図2)



### (3) 右岸地域における地域活力が低下

○右岸地域では、製造業を中心に総生産額が減少。また、製造品出荷額も減少しており、地域経済の低下が顕著。(図3、図4)



## 2. 原因分析

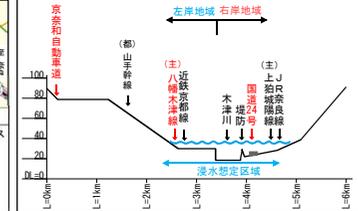
### (1) 代替路がない脆弱な幹線道路ネットワーク

○右岸地域で防災拠点をつなぐ唯一の緊急輸送道路である国道24号は、木津川や支流が氾濫した場合、浸水に伴い通行不能となる可能性がある。(図5)

○右岸地域の南北方向の道路は、国道24号と(主)上狛城陽線しかなく、また複数の天井川を有する堤内地に位置するため、河川氾濫時に浸水の可能性が高い。(図6)



図5 道路ネットワークと浸水想定区域 出典：各市町村のハザードマップ(H29.6時点)



### (2) 主要幹線道路としての機能低下

○右岸地域では南北に移動する道路が限られており、交通が集中。(図7)

○国道24号の混雑を避けるため、(主)上狛城陽線等の狭隘道路を抜け道として利用。

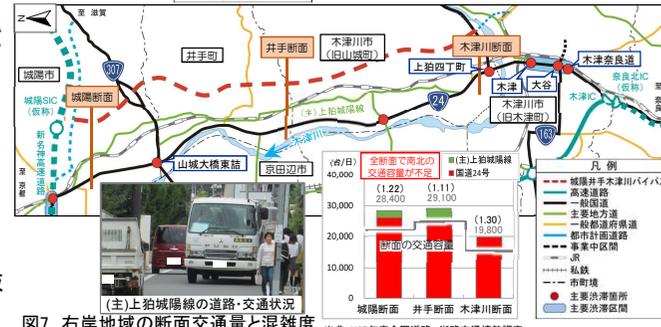


図7 右岸地域の断面交通量と混雑度 出典：H27年度全国道路 街路交通情勢調査

### (3) 地域活性化に向けた主要地域を結ぶネットワークが不十分

○右岸地域では、南北の位置する開発地域を結ぶ道路ネットワークとして、国道24号の他に(主)上狛城陽線があるが、走行性が低くネットワークが不十分(図8)

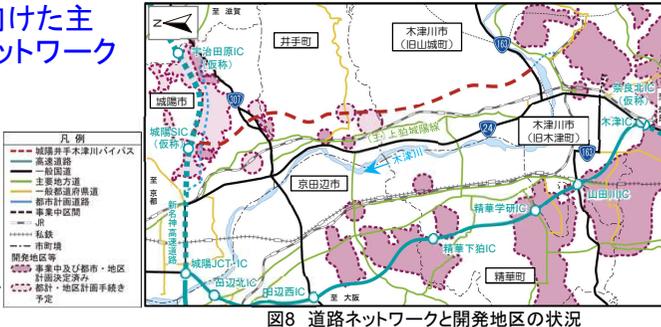


図8 道路ネットワークと開発地区の状況

## 3. 政策目標

- 災害時に強い道路ネットワークの確保
- 渋滞の緩和
- 交通安全の確保
- 地域振興を支援する道路ネットワークの強化

